

## 新技術の活用【H19年度年間ランキングトップ10】

### 平成19年度 年間の新技術活用ランキング

順位	技 術 名	活用	技 術 の 概 要	
		件数		
1	手摺先行型足場	NETIS番号 KT-010074-A	624	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
2	簡易式体感マット	TH-040016-A	182	リング状の集合体をジョイントで結合することで、従来の体感マットのように路面への固定を行わずともめくれ上がらない、もらい事故防止用体感マット
3	W/Cミータ	HR-990025-A	117	「減圧加熱乾燥法」により短時間で水分を除去し、質量差より水セメント比を算出する測定器械（従来は単位容積当たり質量から水分費を算出＝エアメーター法）
4	広幅型鋼矢板	KT-980158	102	従来の矢板（有効幅400mm）より幅の広い（有効幅600mm、900mm）矢板を使用することで矢板の使用枚数を減じ、工期の短縮および施工費の低減を図る矢板工
5	パワーブレンダー工法（スラリー噴射方式）	GB-980012-V	101	改良材をスラリー状に混練後バックホウに取り付けたアタッチメントにより軟弱土と攪拌混合し固化する地盤改良工法
6	デルタクッション	TH-020040-A	95	再生ウレタン材を活用した車両用保安防護体
7	ハット形鋼矢板900	KT-050017-V	77	断面形状をハット形とすることで鋼重あたりの断面性能を向上させ投影面積当たりの材料費の縮減を図り、有効幅の拡大（400mmから900mm）による使用枚数の低減から工期の短縮及び施工費の低減を図る矢板工
8	残存型枠工法「残存型枠プロテックピアスワンダー」	GB-980008-V	76	コンクリート製パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
9	枠組足場用据置型先行手すり枠「ライフガード」	KT-060035-A	71	枠組足場の安全を確保するための据置型手すり先行工法
10	ランブルストリップス（センターライン対応型）	HK-030032-V	65	2車線道路のセンターライン上で舗装路面を凹型に切削することにより、走行車両がセンターラインを超えたときに、音と振動を発生させてドライバーに覚醒・注意を促し、車線逸脱による正面衝突事故を防止する技術

注）活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
（活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映）

# 新技術の活用【第4四半期(1~3月)ランキングトップ10】

## 平成19年度 第4四半期の新技術活用ランキング

順位	技 術 名	NETIS番号	活用 件数	技 術 の 概 要
1	手摺先行型足場	KT-010074-A	81	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
2	デルタクッション	TH-020040-A	44	再生ウレタン材を活用した車両用保安防護体
3	バイコン製法鉄筋コンクリート台付管	CB-010017	43	超硬練コンクリートを振動と圧縮により強固に締固め、即時に脱型して成形するコンクリートパイプで、製造工程で汚濁水の排出が無くなり、CO2の排出も極めて少ない地球環境にやさしい製造方法
4	広幅型鋼矢板	KT-980158	35	従来の矢板(有効幅400mm)より幅の広い(有効幅600mm、900mm)矢板を使用することで矢板の使用枚数を減じ、工期の短縮および施工費の低減を図る矢板工
5	ランブルストリップス(センターライン対応型)	HK-030032-V	30	2車線道路のセンターライン上で舗装路面を凹型に切削することにより、走行車両がセンターラインを超えたときに、音と振動を発生させてドライバーに覚醒・注意を促し、車線逸脱による正面衝突事故を防止する技術
6	枠組足場用据置型先行手すり枠「ライフガード」	KT-060035-A	26	枠組足場の安全を確保するための据置型手すり先行工法
7	簡易式体感マット	TH-040016-A	25	リング状の集合体をジョイントで結合することで、従来の体感マットのように路面への固定を行わずともめくれ上がらない、もらい事故防止用体感マット
8	パワーブレンダー工法 (スラリー噴射方式)	CB-980012-V	18	改良材をスラリー状に混練後バックホウに取り付けたアタッチメントにより軟弱土と攪拌混合し固化する地盤改良工法
9	残存型枠工法「残存型枠プロテロックピラスワンダー」	CB-980008-V	17	コンクリート製パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
10	サンタックスパンシール誘発目地材	HR-990005-V	16	温度変化や乾燥による収縮等の影響でコンクリート構造物に発生するひび割れを所定の位置に集中させ、ブチルゴム被覆により漏水および鉄筋の腐食を防止する誘発目地材
10	エコ電線・ケーブル	KT-990513	16	焼却してもダイオキシン・ハロゲンガス等の有毒ガスを発生せず、埋立処分しても鉛等の重金属を溶出しない難燃性ポリエチレンにより被覆されたケーブル
10	自走式土質改良機	KT-990459-V	16	建設発生土に自走式の土質改良プラントで固化剤を加え、改質処理した後、現場内で再利用する残土処理工法

注) 活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。

(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成19年第4四半期)

# 新技術の活用【月間ランキングトップ10】

## 平成20年3月の新技術活用ランキング

順位	前月 順位	技 術 名	活用 件数	技 術 の 概 要
			NETIS番号	
1	2	手摺先行型足場	39	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
2	18	広幅型鋼矢板	24	従来の矢板(有効幅400mm)より幅の広い(有効幅600mm、900mm)矢板を使用することで矢板の使用枚数を減じ、工期の短縮および施工費の低減を図る矢板工
3	NEW	簡易式体感マット	19	リング状の集合体をジョイントで結合することで、従来の体感マットのように路面への固定を行わずともめくれ上がらない、もらい事故防止用体感マット
4	NEW	エコ電線・ケーブル	18	焼却してもダイオキシン・ハロゲンガス等の有毒ガスを発生せず、埋立処分しても鉛等の重金属を溶出しない難燃性ポリエチレンにより被覆されたケーブル
5	NEW	自走式土質改良機	15	建設発生土に自走式の土質改良プラントで固化剤を加え、改質処理した後、現場内で再利用する残土処理工法
5	1	デルタクッション	15	再生ウレタン材を活用した車両用保安防護体
7	8	枠組足場用据置型先行手すり枠「ライフガード」	13	枠組足場の安全を確保するための据置型手すり先行工法
8	25	枠組み足場用安全装置	9	従来の枠組足場に後付けすることで、転落事故を防止する手摺先行型足場としての使用が可能となる装備品
8	NEW	ロータリースタビライザー	9	通常のバックホウ(0.8m3級)の先端に混合攪拌機(ロータリースタビライザー)を取付けた混合攪拌専用機にて施工する安定処理工法
10	NEW	ニューネオソーラー	8	ニッケル水素電池を太陽電池により充電することで電池交換を不要とする道路工事に用保安灯
10	NEW	直線形ポール式新型道路照明器具	8	直線形ポールを採用した新型道路照明器具

注) 毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。  
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成20年3月期)